



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

# Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2009年5月4日

LOJAPR09/12-No. 134

## プレスリリース

### FAO が豚における H1N1 の嚴重な監視を要請 インフルエンザのような豚の兆候はすべて報告されるべき

2009年5月4日、ローマ - カナダで A/H1N1 型ウイルスに人間から感染した豚が検出され、FAO は各国当局と農民に対し、豚を注意深く監視し、家畜にインフルエンザのような兆候が発生するいかなる可能性も調べることを再度要請した。

「カナダで発生したヒトから動物への感染は、インフルエンザウイルスがヒトから動物へ感染することが可能なため、驚くべきものではない」と FAO の首席獣医官ジョセフ・ドメネックは述べた。

「カナダの出来事でパニックになるべきではないが、それは、我々が絶対に注意すべきウイルス感染のヒトと動物の関連性について気付かせてくれるものであった。」

インフルエンザウイルスは、ヒトでも動物間でも、遺伝子的に常に変化しており、その過程でヒトや動物での罹患と死亡の原因となる能力にも変化が生じる。このためウイルスの特性と変化がいまだ未知であることから、現在の A/H1N1 状況は注意深く監視されなければならない、とドメネックは述べた。

豚呼吸器疾患の監視は強化されるべきで、すべての豚呼吸器症候群はただちに獣医当局に報告されることが推奨されている。また豚におけるすべての新型 A/H1N1 インフルエンザの発生は OIE と FAO に通知することが推奨されている。

豚が臨床呼吸器疾患の兆候を示している場合、疾病の診断が下されるまで、豚、物資、人の移動制限を含む厳格なバイオセキュリティ対策がすべての農場や保有地に適応されるべきである。

A/H1N1 型インフルエンザが確認された場所では、移動の制限は最後の動物が回復した後 7 日間必要である。各国政府は、特に中小規模の豚農家にバイオセキュリティ対策向上のために十分な支援を提供することが要請されている。

豚に直接かわる仕事をする人は、呼吸器疾患、発熱、又はいかなるインフルエンザのような疾病の兆候がみられる際には仕事を休むことが求められている。動物飼育者と獣医は感染のリスクを最小限にするために防護服を着用すべきである。

FAO は A/H1N1 型ウイルスの流行防止のために動物を屠殺することは全く必要がないと強調した。

FAO は A/H1N1 型ウイルスが豚肉及び豚肉製品からは人に感染しないことを強調した。FAO/WHO のコーデックス委員会と OIE の推奨する適正な衛生慣行に従って処理された豚肉と豚肉製品は感染の原因にならない。

英文 URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/19365/icode/>